

セミナー概要資料

セミナーID      jsej-0873	
<b>2021年度海運実務研修講座(1)「タンカー航海傭船契約(全3回)」</b> <b>2020年度海運実務研修講座(31)「タンカー航海傭船契約(全3回)」</b> ASBATANKVOYの解釈と実務を学び応用力をつける	
日 時	2021年4月7日、14日、21日(毎週水曜日) 15:00～17:00(120分/回) 2021年3月17日、24日、31日(毎週水曜日) 15:00～17:00(120分/回)
場 所	日本海運集会所 会議室
受講料	JSE会員:22,000円(税込) JSE非会員:44,000円(税込) ※資料代含む。
定 員	24名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
レベル 対 象	初・中級
講 師	早稲田大学 海法研究所招聘研究員(元福岡大学教授) 榎本 啓一郎 氏
略 歴	AFS米国留学12期生。1971年成城大学経済学部卒業。同年、三井物産(株)に入社、有機化学品部にてリキッド・バルク・ケミカルの国際商取引を担当。台北、ブリュッセル、バンコックでの海外勤務を経て、2002年から2013年3月まで福岡大学商学部教授とし国際貿易に関わる教育と航海傭船契約の研究に従事。現在、早稲田大学海法研究所招聘研究員。 国際商取引学会、日本貿易学会、日本海法学会、異文化経営学会の会員。 2012年 山縣記念財団「山縣勝見賞」「論文賞」受賞
概 要	本講座は、タンカーの運航や営業に携わっている実務担当者並びにタンカーを利用する傭船者を対象に、リキッド・バルクカーゴ(石油、石油製品、ケミカル等)の航海傭船契約に広く利用されているASBATANKVOY定型書式の条項を講師の体験や判例を交えながら実践的な解説をするものです。 個別条件の記載要件とその意義をはじめ、その運用規定としての一般条件を、船主と傭船者の利害が相反するリスクと費用負担の観点から分かり易く具体的に説明して行きます。 更にASBATANKVOYの主要な条件をSHELLVOY 6, ExxonMobil VOY 2012, BPVOYと比較することにより、ASBATANKVOYの特徴を明らかにするだけでなく、タンカー航海傭船契約に共通する基本原則の解釈と実務上の留意点が浮き彫りにされるので、理解が一層深まり、応用力が培われます。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航海傭船契約における責任の分担</li> <li>・ASBATANKVOYの構成と個別条件</li> <li>・船主の義務</li> <li>・傭船者の義務</li> <li>・遅延と損害賠償金</li> <li>・荷役完了通知と碇泊期間の始動</li> <li>・指定港とバースへのアクセス</li> <li>・荷役と碇泊期間</li> <li>・まとめ</li> </ul>